



熊山山頂にある不思議なピラミッド形の石積遺構

熊山遺跡



指定区分	国指定史跡
読みかた	くまやまいせき
所在地	赤磐市奥吉原
指定年月日	昭和31年9月27日
解説	<p>古来より信仰の対象となっていた熊山(標高約508.6m)の頂上付近にある、特異な石積遺構。方形基壇の上に三段の石積を造る。全高約3.5m、各辺の長さは基底部分が約12m、下段が約7.7m、中段は約5.4m、上段は約3.3m。石積の最上段中央には、深さ2mの竪穴石室がある。昭和12年に盗掘をうけた時、高さ約1.6mの陶製筒形容器と三彩小壺、経巻らしいもの出土した。奈良時代に建造されたと思われ、特殊な仏教関係の遺跡と考えられている。</p>
アクセス方法	JR備前香登駅またはJR熊山駅付近から車約30分さらに遺跡まで徒歩約10分
公開状況	自由
設備	熊山遺跡管理棟  駐車場  トイレ
備考	

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定史跡
ぶんかざいめい (文化財名)	熊山遺跡
よみかた	くまやまいせき
しょざいち (所在地)	赤磐市奥吉原
していしたひ (指定した日)	昭和31年9月27日
せつめい	熊山(くまやま)のてっぺんに、高さおよそ3メートルのピラミッドのような形に石をつみ上げてできた、ふしぎな建物(たてもの)があります。熊山は大むかしから、神(かみ)さまがいる山として人々にあがめられていたようです。